

命が輝き、 魂が踊り出す

いきたひ 死

いきたひ



今日が最後だったなら誰に何を伝えますか

魂の深奥の次元へと

魂の活性化

人生の四つの徳とは

生きる・生かされている

ホリスティック医療

意味を抱いて看取りたい

「いきたひ」は、死を告げるのではなく、死を告げようとするのが

自分自身がどう生きたいか、どうありたいか

生き残ったエネルギーの受け渡し

命のバトンを受け渡し受け渡す

今までの人生を味わい輝いて生きて欲しい

～いきたひ上映会 & スペシャル講演会～

講師：西本真司（西本クリニック院長）
長谷川ひろ子（「いきたひ」監督）

兼田廉宏（医療法人翠松会岩城クリニック理事長）
井上祐宏（子孫へのラブレター協会代表）〈登壇順〉

2018 12月1日（土）

開場 13:00
開演 13:30 終演 19:00

会場：とくぎんトモニプラザ 3F 大会議室
徳島県徳島市徳島町城内2番地1（JR徳島駅より徒歩10分）

定員：200名（先着順・定員になり次第締め切ります。お申込みはお早めに！）

前売り：大人 2,500円 ・学生 1,500円

当日券：大人 3,000円 ・学生 2,000円 ・中学生以下無料

※必要経費を除き売上は西日本豪雨災害・北海道地震・南インド・ケララ州豪雨災害義援金として寄付させていただきます。どうぞお力をお貸しください

お問合せ・お申込み：電話：090-9451-8087（藤岡）Fax：088-633-3457
Mail：saeko.studio24-1@docomo.ne.jp

主催：いきたひ徳島上映実行委員会 代表 藤岡小絵子

とくぎんトモニプラザ
アクセス情報



※お電話、又は、チケット枚数（大人・学生）、お名前、チケット郵送先のご住所、お電話番号をご記入の上 Fax・Mailにてお申し込みください

当日スケジュール

※講師・時間割等は変更になる場合がございます。ご了承ください。

13:30 開会の挨拶 藤岡小絵子

13:35 - 第1部 - スペシャル講演会

「臨死体験医師が語る潰瘍性大腸炎・がん克服・予防対策
～セロトニン活性のポイントと音の癒し実践～」

講師：西本真司（医師・西本クリニック院長）



西本 真司氏

14:25 休憩（10分）

14:35 「認知症とその予防など」

講師：兼田 康宏（医師・医療法人翠松会岩城クリニック理事長）



兼田 康宏氏

15:25 休憩（10分）

15:35 - 第2部 - 映画上映会

看取りドキュメンタリー映画「いきたひ」上映&長谷川ひろ子監督講演

17:35 休憩（10分）

17:45 - 第3部 - 講師4人によるトークライブ&ソウルシフトワーク

子孫へのラブレター



長谷川 ひろ子氏

19:00 終演

井上 祐宏氏

■看取りドキュメンタリー映画「いきたひ」について
いきたひ～こうして映画は誕生した～



<http://ikitahi.com/koushite/>

いきたひ～プロローグ～



https://youtu.be/bjfsod_8il

■子孫へのラブレターとは？
～死ぬときに後悔しない方法～



<https://youtu.be/lFonB2D-pZ8>

登壇者プロフィール

●西本真司（にしもと しんじ）：西本クリニック院長

1961年和歌山県生まれ。近畿大学医学部卒業。麻酔科内科医。20歳の時に最愛の祖母をひき逃げ事故で突然亡くし、死後の世界の研究が始まった。29歳時に潰瘍性大腸炎の診断を受け、自身の難病を克服する過程で様々な治療法を研究・実践。4回に渡る入院中に臨死体験をするなど死に瀕する経験も積み、難病を克服する。現在、和歌山市内で身体・心・気（霊性）を総合的に見据えるホリスティック医療を目指して、診療場面でエネルギー療法・気功・音楽療法・笑いのワーク等代替医療の実践を重ねている。著者に「奇跡の生還」「潰瘍性大腸炎が治る本」他。<http://home.att.ne.jp/surf/nishimoto/>

●兼田康宏（かねだ やすひろ）：医療法人翠松会岩城クリニック理事長

精神科専門医資格として、他に日本老年精神医学会専門医等。専門領域は、精神薬理学と神経心理学（認知機能）。昭和38年香川県丸亀市綾歌町出身。県立丸亀高校卒業後、徳島大学医学部医学科に入学。大学卒業後、大学院を修了（医学博士）。精神科病院赴任中に徳島医学会賞を受賞。ヴァンダービルト大学（米国テネシー州ナッシュビル）に2年間研究留学。留学中のナッシュ先生（映画「ビューティフル・マインド」のモデルで、ノーベル経済学賞受賞者）との出会いが、その後の認知機能研究を決定付ける。現在は、認知症をはじめ、うつ病や統合失調症、発達障害患者さんの認知機能評価を通じて、社会生活支援を行っている。現在までに発表した論文数は100編を超える。

●長谷川ひろ子（はせがわ ひろこ）：フリーアナウンサー・シンガーソングライター

秋田県出身・埼玉県在住・4児の母。健康体操教室「スタジオ Mother's」主宰・元日高市教育委員・著書「自分磨きは姿勢から」「生前四十九日」夫の最期を4人の子ども達と自宅で看取る。その後、死生観について考えていく中で、看取り士・柴田久美子さんと出会う。人を看取ること生きることの意味を問うドキュメンタリー映画を自身で制作。映画の上映&講演活動を全国で展覧中。

●井上祐宏（いのうえ ゆうこう）：子孫へのラブレター協会代表

1962年東京生。早稲田大学政経学部卒。20代前半にアメリカ・インドを旅し、精神的探究を深める。二つの代替医療関連の協会の設立運営を推進。健康・医療・農業・自己啓発・環境など様々な分野で過激な変革を推進。2009年より一般社団法人エジソン・アインシュタインスクール協会 <https://gado.or.jp/> 専務理事に就任し、2,000人以上の発達障害児の改善をサポート。2012年遺言ビデオレターメソッド「子孫へのラブレター」を考案し、その普及に取り組む。<http://loveletter.tv/>

2017年一般社団法人日本認知症改革推進協会理事にも就任。認知症改善のための最新情報の普及啓蒙にも取り組んでいる。著書に「今日が最期だったら誰に何を伝えますか」等

ご協賛

